

竹口ひろのり 略歴

1982年2月大山町(旧名和町)生まれ。33歳。家族は妻と4歳の息子。
光徳小学校、名和中学校、国立米子高専を卒業後、23歳でインターネット通販会社を立ち上げ、大山ハーブチキンをブランド化。27歳から大山町議会議員を務め、議会広報委員長として親しみやすい議会広報づくり・議会のインターネット中継開始などの改革を推進。議会広報誌は全国2位となる。
31歳からカナダのプリティッシュコロンビア州パウエルリバー市で、小規模自治体のまちづくりを独学で1年間研究し、鳥取県の活性化のためにまちづくりの国際比較を論文にまとめる。

人口減少を止める施策の推進

1 需要のある雇用の創出

2 教育・子育て支援のさらなる充実

3 健康寿命を延ばす施策

4 交流人口の拡大

西伯郡から 新しい風を

鳥取県から地方創生



たけぐち
ひろのり
33歳

福岡ゆたかが近年に取り組んだ主な県政課題

- 地下水の保全を目的とした地下水条例の成立
- 地域公共交通ネットワークの確立を提言
- 憲法改正反対を主張
- 中山間地域と災害復旧対策における農地確保について
- アルコール・薬物など依存症者対策への連携強化
- 民生・児童委員の活動支援強化について

福岡ゆたかプロフィール (平成27年2月1日現在)

昭和17年 南部町天馬出生
昭和35年 県立米子東高校卒業 旧国鉄へ入社
昭和46年 断酒会入会 鳥取県断酒会 事務局長・鳥取県断酒連合会 会長歴任
昭和48年 ボーイスカウト隊長として青少年の育成・指導(15年間)
平成5年 連合鳥取 事務局長(専従)に就任 部落解放鳥取共闘会議 事務局長として差別撤廃・人権運動にも積極的に取り組む
平成7年 鳥取県議会議員初当選(現在5期目)
平成8年 民主党鳥取結成と同時に民主党鳥取県連 幹事長就任(13年間)
平成17年 鳥取県監査委員 中山間地域振興調査特別委員会 委員長
～24年 関西広域連合 議員等歴任
現在の役職
鳥取県議会 会派(幹)「民主党議員会派」 会長
決算審査特別委員会 委員長
鳥取県社会福祉審議会 委員
ボーイスカウト運動議員懇談会 会長
環日本海友好交流促進議員連盟 副会長
鳥取県議会「県民の警察を助ます会」 副会長
民主党鳥取県連 副代表
NPO法人鳥取県断酒会 参事
JR西労組地方議員団会議 議長

私の決意

中山間地を守ることに
全力を挙げる。
農業を守り、交通政策基本法に基づく地域交通ネットワークを整備する!

「働くこと」「働く人」
を尊重する社会をつくる!

支え合いのための
社会保障制度の確立。
とりわけ子育て支援の充実強化を!

部落差別をはじめとする
あらゆる差別をなくす!

東日本大震災
からの
一日も早い
復興を!!

民主党公認

「ハチドリ」のひとしずく ～いま、私にできること～

南米・エクアドルの先住民族に伝わるハチドリの物語。アマゾンの森が燃え、動物たちは我先に逃げ出した。でも体長7センチほどの小さなハチドリだけは、行ったり来たり、口はしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落としたり。動物たちは「そんなことして何になるんだ」と笑った。ハチドリはこう答えた。「私は私にできることをしているだけです」



ふく
ゆたか
福岡



かしまい
いさお
鹿島功

私は、町議会議員として住民の目線で地域に根ざした活動に取り組みました。現在も農業を営みながら地域でまちづくり活動などを行っています。

昨今、県政等に関心の薄い人が増え、選挙の投票率が低下しているなどを心配する意見をよく聴きます。私は、「無投票」にせず「選挙」を実施することこそが選挙への関心を高めそれから投票率の改善につながるものと考えます。

翻って西伯郡の県議会議員選挙は平成十一年以来無投票です。長年、政治に関わった者としてこの現状を黙認してはならないと決意しました。選挙に伴って活発な議論が起されれば西伯郡の活力を引き出すきっかけになるかと思えます。

私は、県議として次の課題に鋭意取り組みます。

①「日野川流域の活力を取り戻そう」日野川流域全体の自然環境、伝統、文化を大切に活かしながら観光やスポーツ、地域の中小企業、小規模事業など地場産業の振興に尽くします。

②「大山を世界に 世界から大山に」鳥取中部を視野にした宿泊を伴う観光事業の拡大と海外のお客様を増やす為に世界に発信できる企画を推進します。
(例 大山頂上登山競争、大山周回マラソン等)

「訪日外国人が平成二十五年度一千万人を越えた。政府はこれを東京五輪の平成三十二年に二千万人、平成四十二年に三千万人にする目標を掲げています。」

③「安心して従事できる農林水産業」活力のある農林水産業が持続可能となる施策に皆様の意が反映するように鋭意取り組みます。生命の産業に安心して従事し生産する喜びを実感できる様に高付加価値化など現場主義で対応します。

④「高齢化と人口減少」高齢化と人口減少に伴う福祉、医療、教育など多岐で多大な課題の先送りは許されません。皆様の叡智を集めて全身全霊で打ち込みます。

⑤「自ら考え、育て、自立した地域づくり」個性と活力のある地域づくりは人々の意欲と熱意が決め手です。伯耆町、南部町、日吉津村、大山町の底力を信じて、地域の皆様とともにこの課題に挑みます。

プロフィール

○昭和二十九年十二月生。倉吉農業高等学校卒業。
○昭和五十五年自民党入党。昭和五十六年旧中山町議会初当選、以来連続当選し平成二十五年四月まで三十二年間町議会議員。この間に旧中山町議会最後の議長、平成十七年合併大山町議会初代議長に就く。

○現在 鳥取県農業共済組合理事。大山森林組合副組合長。『やらいや達坂(大山町中山地区まちづくり協議会)』会長。農業(ブロッコリ、梨など)。



うえむら
ただひさ
上村 忠史

「皆様の声を県政に」

(その一) 安心と安全

地方と中央の格差を是正し、地域が地域のことを決める。高齢者・弱者の生活の質を高め、互いに連携する社会を築く。

(その二) 産業の活性化

農林業の強化(六次産業化)。水産業の再生(きれいな水、クリーンな環境と共に)。若年層・中高年齢層の雇用の確保。

(その三) 教育の充実

家族の絆をもとに、地域や学校教育の充実。その為の郷土や我が国の歴史・道徳教育やものづくり教育の充実を図る。

郷土に誇りと発展を!

国際化、グローバル化の今日、国の領土を守り、国民の生命財産を守る。そして国の主権・統治を守ることが先ず基本です。そして国民(ヘイコル県民)は勤労・納税・教育の義務があります。自助、共助で花開く郷土を築きましょう。

うえむら ただひさ

上村 忠史の略歴

昭和19年5月14日生 70才
西伯郡大山町西坪482-1 在住
昭和35年 名和中学校 卒業
昭和38年 米子東高等学校 卒業
昭和42年 九州大学 工学部 卒業
昭和42年～48年 昭和電工 勤務
昭和49年 ダイニチ技研㈱ 社長
～平成10年
平成2年～10年 名和町議会議員(2期)
鳥取県議会議員(4期)
常任委員長、監査委員、副議長 歴任
県自転車競技連盟会長(協)山陰商工信用理事
表千家県代表
大山ライオンズクラブ会長

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報 (西伯郡選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

鳥取県議会議員選挙 投票日 4月12日(日)

鳥取県議会議員の選挙区と定数



投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を
繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

投票用紙は
県議会議員選挙が**薄い黄色**、知事選挙が**白色**
の用紙です。

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を
移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の
証明書」を提示することで、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。